

☆みつけ☆ <http://www.mitsuke.or.jp>

商工会通信 2012年12月号

今後の資金計画については、早めにご相談ください!

原則全業種指定のセーフティネット保証5号(100%保証)について、11月から業況が改善した一部業種が指定から外れました。また、来年3月末には、金融円滑化法が終了します。中小企業の経営支援のための政策パッケージが示され、経営力強化保証制度が10月から創設されておりますが、年末資金及び来春以降の資金繰りにつきましては、早めにご相談願います。

「道の駅」における物産品販売等に係る説明会

日時：平成24年12月13日(木) 13:30～
会場：ネーブルみつけ 多目的広場
申込み・問合せ先：見附市産業振興課(田伏、曾我)

個人事業者の方の消費税の届出について

個人事業者の方の消費税の各種届出関係につきまして、参考資料を当会ホームページにアップいたしました。資料を参考にシミュレーションを行い、期日までに届出を行ってください。

源泉税年末調整指導会開催のお知らせ

見附商工会館 1月10日(木)・11日(金) 9:30～16:00
今町商工会館 1月16日(水) 11:00～15:30
持参資料 税務署から郵送された資料、給与台帳・源泉徴収簿
生命保険等の控除証明書、社会保険料の納付額がわかる書類等
◆事務手数料：1人につき1000円(非会員は2000円)
源泉税の納付期限は1月21日(月)です。

無料法律相談会の開催

開催日 12月10日(月)・1月15日(火)
会場 見附商工会館1F相談室
開催時間はいずれも午前10:00～正午までとなります
相談を希望される方は商工会までお申し込下さい。
(要 予約)

見附商工会新春企業交流会

本年度の新春企業交流会は、前金融庁長官 三國谷勝範氏を講師に迎え、講演会を下記のとおり開催いたします。青年時代には、三条税務署長として赴任されましたので、ご存知の方も多いことと思います。多数参加くださるようご案内いたします。

日時 平成25年1月30日(水) 午後3時30分～

場所 見附市本町4丁目 ホテルつるや

*詳細は別紙案内の通り

あなたの会社は希望者全員が65歳まで働ける制度になっていますか?

平成25年4月1日から改正高年齢者雇用安定法が施行されます。

【改正のポイント】

- ・継続雇用の対象者を限定できる仕組みの廃止
*就業規則に定める解雇事由または退職事由に該当する場合には、継続雇用しないことができます。
- ・一部、希望者全員を雇用する上限年齢を、年金の報酬比例部分の支給開始年齢に合わせて、段階的に引き上げる経過措置を利用することができます。
- ・継続雇用制度の対象者を雇用する企業の範囲を拡大
- ・義務違反の企業に対する公表規定の導入

詳細については、最寄りのハローワークへお問い合わせください。

年を取るのも悪くない

小規模企業振興委員 大久保 勲

先日、中学の同期生による古希を祝う会が行われ、私も出席致しました。70数名が元気に集まり、再会を喜び、近況を語り合い、懇親会前から盛り上がりました。

しかし、400余名の同期の中早くも40数名が、鬼籍に入ってしまったとの話を聞き、今元気でご馳走を食べ、好きなお酒を飲める、健康でいることの有り難さを感じました。

しかし古希とは、間違いなく70才台に仲間入りしたことです。

これから先、天命はどの位与えられているのか知る由もありませんが、この度小規模企業振興委員に指名頂き、私に何ができるものかわかりませんが、いろいろと経験・体験してきたことから、少しでも地域にお手伝いできることがあればと思います。

先日新聞で目にした記事に「年を取るのも悪くない」今後もいろいろな人との出会いに、喜びや悲しみを受け止めながら、年を重ね、前向きにそんな思いで日々を過ごしたいと思います。

見附商工会企業交流会(工業部会主管 11月12日開催) 照内日本銀行新潟支店長の講演会を開催 <講演会要旨は以下のとおり>

海外経済は、減速した状態が強まっている。

中国経済は、ウエイトの高い欧州向けの輸出が落ち込んでいることに加え、幅広い分野で在庫調整圧力が強まってきている。

日本経済は、公的需要に支えられ推移してきたが、景気の基調判断は一服・弱含み局面に入っている。

新潟県経済においても、海外経済の減速、円高により影響が出始めている。また、国内需要においては、エコカー・省エネ節電需要・ペントアップ需要等の個人消費及び民間企業設備投資においてプラス要因も見られるが、復旧復興需要の県内企業の取り込みは限定的である。

県内企業の欧州との貿易状況は、輸出において対中国が2割強であり、対西ヨーロッパ・CISは1.5割である。

ヨーロッパに対する輸出依存度が低いように感じられるが、ヨーロッパの状況が悪くなるとヨーロッパ向けの輸出が2割を超える中国経済が減速し、中国輸出が2割を超える新潟県経済にとって大きな影響が出ることとなる。

このような状況の中、日本銀行は、中長期的な物価安定の目途の導入を行うとともに強力に金融緩和を推進している。

企業からみた金融環境は、お金はあるが回らない状態である。

日本経済及び地域経済の課題としては、急速な人口減少・高齢化の下で生じている成長率の低下にどのように対応するか。また、経済がグローバル化し、海外シフトが進む中で、国内・地域経済をどのように成長させるかという点である。

人口が増えて若い人が増えて成長率が上がっていくという時代ではない。その中で何ができるのかを考える必要がある。

成長率を高めるためには、就業者数の伸びを高めることであり、生産性を高めるためには、グローバル需要の取り組みや内需の掘り起こしを通じて付加価値の高いビジネスを生み出し、そこに資源を移動させていくことが必要である。

成長力強化の具体化としては、エネルギーや環境に対する意識の変化を捉えビジネス化を図ることや、急速な高齢化に対して高い消費性向や多様な価値観を取り込む必要があり、旅行・レジャー・医療・介護・高齢化に対応した住宅・まちづくりなど成長分野は数多い。

高齢化やエネルギー制約は、他のアジア諸国も必ず直面する問題であり、国内で先んじて培ったノウハウや技術を生かすフィールドにすることが必要である。

工業部会視察研修会(11月14日開催) TDK ラムダ(株)長岡テクニカルセンター・(株)太陽工機視察

TDK ラムダ(株)長岡テクニカルセンターは、産業機器に組み込まれる電源を供給している(設計から生産まで)会社です。

世界5極体制の研究開発で、高信頼性の製品をスピーディに開発しています。日本で設計したものは海外で展開。海外で開発したものは、そのエリアで生産・保守を行うとのこと。現在、半分以上は海外の売上とのこと。

地球を守る(美しい自然と限りある資源を大切にすること)を環境理念とし、そして、環境品質を徹底し技術開発に取り組み、生産を行う体制を整えている素晴らしい企業でした。

また、(株)太陽工機は、立型研削盤が特徴です。

従業員50人位までは家内工業で良いが、50人を超えたら身内は排除すべきと、渡辺社長より教えを受けました。

現在、日本では何が起きているか?

お客様が常に何を欲しているかを把握し、アイデアを出し答えを出すことが必要である。世界で通用するものを、この地で創り、世界に供給したいと、心強い抱負をお聞きいたしました。

繊維部会視察研修会(11月27日開催) 信州大学繊維学部を視察し産学官連携について研修

従来の匠の繊維と新しい付加価値(技術)を結び付けるファイバー工学の世界。応用生物科学系、機械・ロボット学系、化学・材料系、繊維・感性工学系があり、工学・理学・農学・医学+アルファの幅広い分野(融合領域)で教育・研究が行われています。

先端産業を支えるファイバー工学は、産業資材・高度情報化・高齢化社会(医療・健康)・地域資源・航空/宇宙等幅広い分野です。

バイオファイバー&エコロジーのイノベーションにおいては、ポスト石油における代替エネルギーの研究は進んでいるが、今後は再生利用可能な代替資源が着目されているとのことでした。

信州大学繊維学部では、産学官連携を積極的に進めており、専門機関がコーディネートを行うので積極的に相談してほしいと呼び掛けていました。